

第3編 基本計画

1 重点プロジェクト

■子どもたちの笑顔あふれるまち

Project.1 笑顔がつながる子育て応援プロジェクト

Project.2 たくましく生きるいなしきっ子プロジェクト

■働きやすく住みやすいまち

Project.3 地域経済活性化プロジェクト

Project.4 水と緑の住みたくなっちゃんプロジェクト

■暮らして安心安全なまち

Project.5 安心安全な地域づくりプロジェクト

Project.6 地域の絆を生かした交流・連携プロジェクト

2 基本計画（政策別計画）

第1章 すくすく子育て学びのまちづくり

第2章 いきいき元気に暮らすまちづくり

第3章 ゆうゆう安心・安全に暮らすまちづくり

第4章 わいわい快適に暮らすまちづくり

第5章 かっちり市民と行政が連携するまちづくり

1 重点プロジェクト

■重点プロジェクトとは

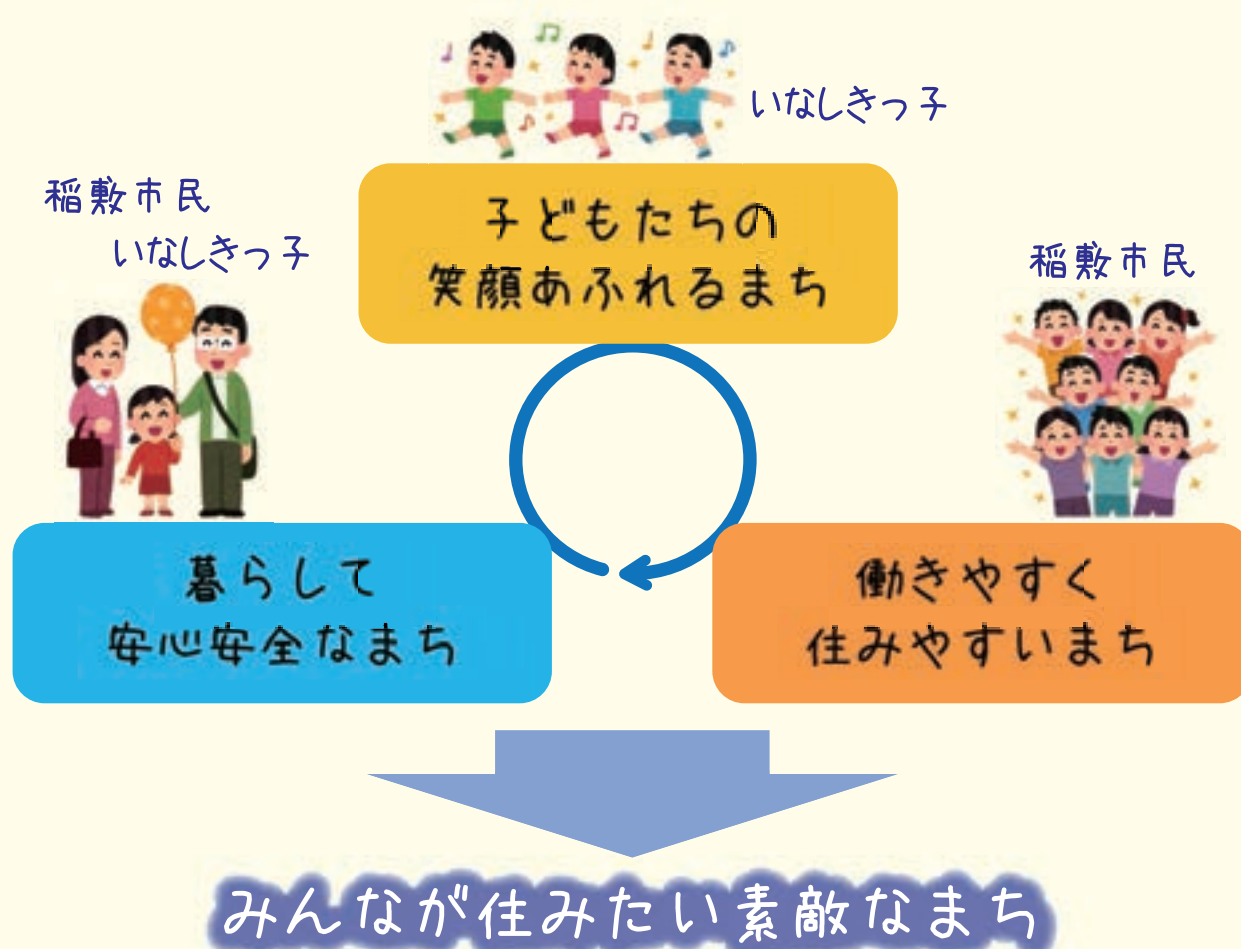
重点プロジェクトは、将来像である「みんなが住みたい素敵なまち」を目指して、今後5年間に、基本計画（政策別計画）に位置づけた施策の中で、優先的かつ重点的に取り組むプロジェクトです。

「みんなが住みたい素敵なまち」を実現するためには、市民一人ひとりがまちづくりの主役となって、自慢のふるさと稲敷を愛し、誇りに想う気持ちを培っていくことで、多くの市民が「住んでよかった」と思えるようなまちをつくり上げていくことが必要です。

このため、第一に取り組むこととして、子育て・教育を本市の最重要施策と位置づけ、稲敷市の未来を担う子どもたちが元気でたくましく育ち、そして、市に愛着を持てるよう、「子どもたちの笑顔あふれるまち」を目指します。

第二に取り組むこととして、地元企業の支援をはじめとする産業の振興や、若い世代が稲敷市に住み続けたいような定住支援を行うことにより、緑豊かな自然環境のなかで、職と住が整った「働きやすく住みやすいまち」を目指します。

第三に取り組むこととして、行政にあっては防災や防犯対策、交通安全など地域の安全対策の強化を図り、また、地域にあっては、コミュニティの活性化や協働のまちづくりを発展させることで、「暮らして安心安全なまち」を目指します。



子どもたちの笑顔あふれるまち

子育て・教育を、本市の最重要施策と位置づけ、稲敷市の未来を担う子どもたちが、元気でたくましく育つこと、そして、市に愛着を持てるよう、「笑顔がつながる子育て応援プロジェクト」「たくましく生きるいなしきっ子プロジェクト」に取り組み、子どもたちの笑顔あふれるまちを目指します。

Project. 1

笑顔がつながる子育て応援プロジェクト

乳幼児期、学童期・青年前期（小中学校）の子育て支援はもとより、それ以前の出会い・結婚・妊娠・出産の時期、義務教育以降の青年中期（高等学校）までの子どもたちとその保護者の夢や希望がかなえられるよう、長期的で切れ目のない支援や取組を積極的に進めることで、「稲敷市に生まれ育って良かった」と思えるまちを目指します。

また、地域全体で子育て世代を支える環境づくりや三世代同居及び近居の子育て家庭を支援する取組などを推進します。



～こんなことを実現します～

稲敷のかわいい子どもたちの笑顔をとくさんつくります！



稲敷市で子育て中のママに聞きました！

稲敷市で生まれ育って、実家から通えるIT企業に就職できたのは、すごくよかったと思います。ライフプランニングをまじめに考えると、実家から通える企業って本当にありがたいです。



そのおかげ？で、中学校の同窓会（同窓会応援プロジェクト事業）で再会した彼と結婚！ 彼の実家はすでにお兄さんが跡を継いでいたし、私の実家は跡取りがいらない。それじゃあ、私の実家をリフォームして、じいじ・ばあば、子どもたちと賑やかに暮らそうってことになり、私の両親との同居生活をスタートさせました（三世代同居リフォーム支援事業）。

両親はパパのことを小さい子どものころからよく知っていることもあって、自分の息子のようにかわいがってくれて、ホッとしています。

今は、パパと3人の子どもと両親の7人家族で毎日すごく忙しいけど、パパの実家も近くていざという時は助けてくれるから安心です。ママ友とお出かけのときなどは、普段子どもと遊びに行く「あいアイ（子育て支援センター）」でファミサポさんに子どもを預かってもらって（ファミリーサポートセンター事業）、リフレッシュできています。



また、市では安心して子育てできるよう、子育ての不安や悩みを相談したり、アドバイスをしてくれる子育て版のワンストップサービスがあって、妊娠期から切れ目のない支援を受けることができます（子育て世代包括支援センター事業）。

私も1人目の赤ちゃんが出来たときはとっても不安だったけど、何でも相談できるので、困ったときはもちろん、不安でドキドキなときも、悲しくてブルーなときも相談にのってもらってます。

そして、私が一押しなのが電子母子手帳アプリです。スマホに登録すると、健診のデータを記録できたり、予防接種の履歴が確認できたり、次の予定を知らせてくれたりするだけでなく、子どもの日々の成長の様子をSNSに写真付きで投稿できる、電子版の母子手帳なんです（電子母子手帳サービス事業）。



そのほか、子育て総合情報サイト「COCOLO カフェ」や子育て応援サイト「ママフレ」もあって心強いですよ。

そうそう、市では、出生届を提出するときに、わが子への手紙を書いて市に預かってもらい、それを子どもが成人するときに送ってもらうサービスがあるんです（わが子への未来便事業）。



生まれてきてくれてどんなに嬉しかったか、わが子が大人になったときに伝えられるように、そして子どもにもそんな思いを持って親になってほしいなと思いながら、一生懸命手紙を書いたことを覚えています。

子どもたち… どんな気持ちで読んでくれるのかな？

関連事業

事業名	基本計画掲載箇所
同窓会応援プロジェクト事業	【4章1節-1-④】 P99
三世代同居リフォーム支援事業	【4章1節-1-⑤】 P99
ファミリーサポートセンター事業	【1章1節-1-②】 P44
子育て世代包括支援センター事業	【2章2節-1-①】 P72
電子母子手帳サービス事業	【2章2節-1-①】 P72
わが子への未来便事業	【1章1節-1-①】 P44

など

Project. 2

たくましく生きるいなしきっ子プロジェクト

子どもたちの「生き抜く力」を醸成するため、基礎的・基本的学習の徹底など確かな学力や応用力の定着、国際化・ICT化の進行など社会の変化に対応した多様な教育を展開します。また、豊かな自然に触れ合う機会を通してたくましく、健やかな成長を促します。

さらに、家庭が担う教育は大変重要であることから、家庭教育の支援を強化するとともに、家庭と地域と行政が連携することにより地域の教育力向上を図ります。



～こんなことを実現します～

賢くたくましいいなしきっ子をのびのび育てます！



小学生・中学生のお子さんをもつお母さんに聞きました！

子どもが大きくなってくると、教育の面など、心配ごとが増えてきます。

それでも、小学生の息子が分数でつまづいて算数がわからなくなったときには、放課後に先生が丁寧に教えてくれてちゃんと克服できたので、苦手意識を持たないで済みました。国語は「みんなにすすめたい一冊の本」の取組で本好きになったせいか得意なので、今では勉強は大丈夫そうです。

また、これからは放課後の学習支援活動（放課後学習支援事業）も始まるそうで、成績アップにつながればいいなと期待しています。もちろん家での勉強も手を抜いちゃダメですね。



体力面ではちょっと弱々しいところがあったけど、霞ヶ浦周辺の水辺環境を生かしたキャンプ（アウトドア体験教室推進事業）に参加したら、とても楽しかったらしく、それ以来すっかりアウトドア派に転向してしまいました。最近では、朝早くに夫をたたき起こして、新利根川や横利根川に釣りに行ったりしているんですよ。

また、最近、あることがきっかけで、スポーツも好きになったみたい。話を聞いてびっくりしたんですけど、トランポリンで東京オリンピックに出場するカナダの選手が学校に来てくださったんですって。オリンピック選手の演技を間近にみただけじゃなくて、一緒にトランポリンをやったと大興奮で話してくれました（東京オリンピック・パラリンピック誘致推進事業）。トップアスリートとの交流が楽しかったようで、そのあと、すぐに市内のトランポリン教室に通うようになり、ずいぶんたくましくなった感じです。



この春、子どもが小学6年生になったので、働きに出ようかと思っています。でも、働いているママ友から話を聞くと、帰宅後子どもを一人にするのはやっぱり心配です。児童クラブで放課後に子どもを預かってくれるのは知っていましたが、3年生までしか見てもらえないと思ってい

ました。そしたら、今は、6年生まで預かってくれて、待機児童が出ないよう、着々と児童クラブの整備が進んでいるんですって。

児童クラブでは、遊びだけでなく宿題の時間もきちんとあり、午後6時30分まで預かってくれるそうです(放課後児童健全育成事業)。これなら私も安心して、働き始めることができそうです。



中学生の娘は、姉妹都市のカナダのサーモンアーム市に行ってから英語に興味を持ち、がんばって勉強するようになり、成績も上がりました。今度、サーモンアーム市の学生が稲敷市に来るときに、ホストファミリーになり英語で会話したいと、猛勉強中です(国際理解・国際交流事業)。私たちも英会話を勉強しなきゃいけないねって夫と話しています。

また、稲敷市では、英語検定が市の補助により無料で受験できるので(英語検定料補助事業)、うちもそうですが、お友達も受けているみたいです。この補助を使って、娘は英検3級に合格し、ますます英語熱が高まっている様子です。

そういえば先日、娘が学校で受けたキャリア教育について話してくれました。学校で裁判所を見学し、裁判官から話を聞いたとか(いなしきっ子キャリアアップ事業)。テレビドラマでしか見たことがない裁判所を見学して感動したようで、夫に「裁判官になるにはどうしたらいいの?」と聞いていたみたいで、将来のことをいろいろ考えることは、とってもいいことだと思います。



娘は来年受験で、息子も中学生になるので心配なことはいろいろありますが、学校の先生方や地域の方に助けられて、ここまでこれたと思います。学校では、基本的な学力を身につけるためのフォローアップをしてくれるし、子どもの将来に向けた様々な取組があり、子どもたちがたくましく育っている感じがします。

関連事業

事業名	基本計画掲載箇所
放課後学習支援事業	【1章1節-2-②】 P47
アウトドア体験教室推進事業	【1章1節-2-④】 P48
東京オリンピック・パラリンピック誘致推進事業	【1章2節-2-②】 P56
放課後児童健全育成事業	【1章1節-1-①】 P44
国際理解・国際交流事業	【1章2節-3-③】 P58
英語検定料補助事業	【1章1節-2-⑤】 P48
いなしきっ子キャリアアップ事業	【1章1節-2-⑤】 P48

など

働きやすく住みやすいまち

地元企業の支援をはじめとする産業の振興や、若い世代が稲敷市に住み続けたいとなるような定住支援を行うことにより、「地域経済活性化プロジェクト」「水と緑の住みたくなっちゃうプロジェクト」に取り組み、緑豊かな自然環境のなかで、職と住が整った働きやすく住みやすいまちを目指します。

Project. 3

地域経済活性化プロジェクト

地元企業の安定的経営を促進するため、市内で商店や事業所を経営する企業への経済的支援に努めます。また、市の基幹産業である農業が次世代に受け継がれていくよう、農地の維持・保全を図るとともに、農業のより一層の振興・発展を目指した取組を進めます。

また、圏央道の県内全線開通を契機に、積極的な企業誘致を進めるとともに、創業支援の充実など新しい産業の創出を図り、地域における雇用の安定・拡大を目指します。



～こんなことを実現します～

いなしきの「わかいしゅ」の底力で地域を元気にします！



稲敷市にリターンしてきた若い女性に聞きました！

東京の大学を卒業し、希望どおり東京の大手食品メーカーに就職できたのはよかったけど、東京の郊外にあった緑豊かなキャンパスとは違い、都心のオフィスは目まぐるしく、人間関係もなかなかうまくいかない。狭いワンルームマンションに暮らし、通勤は満員電車で揺られ、毎日残業。

大好きなカフェめぐりもぜんぜんできなくなっちゃって。2年我慢したけど、もうホント限界かも…。おうちに帰りたい…。

そんなこんなで、次の仕事は決まっていなかったけど、思い切って、仕事をやめて稲敷市の実家に帰ってきました。

やっぱり実家がいいな。炊きたてのミルククイーンのおいしさ！れんこんのきんぴら！心にしみわたります。



それで、仕事辞めてきちゃったけど、どうしよう？

ネットで仕事を探しているとき、何気なく市役所のホームページを見ていたら、商工会で開いている「稲敷創業塾」の案内がありました。創業するために必要な知識やスキルを学ぶことができるようです。私、カフェが大好きで、ずっとカフェのオーナーになりたいと思っていたんだ。食品メーカーの営業で学んだスキルを生かして、起業するチャンスなのかもしれないって思いました。2年間、頑張って貯めた貯金もあるし、私にもできるかも。さっそく申し込んでみました。



参加者は、私のように経営の経験がない方もいれば、今、稲敷市で事業を営んで、新しいことにチャレンジしようという方もいて、熱気にあふれています。この塾を卒業すると、市の「特定創業支援事業者」として認定され、有利に融資を受けることができるなどの優遇制度を受けられるとのこと（商工業振興事業）。

今では、市内の古民家を活用した古民家カフェの開業に向け、準備を進めています。



そういえば、この間、中学校の同窓会に参加したら、東京の銀行に勤めていた同級生が、稲敷市に戻って就農に向けた準備を進めていると聞いてびっくり。みんな帰ってきてるんだ！彼は、就農するための農業技術や経営ノウハウ取得の研修に専念できるように支援を受けていて（農業経営基盤強化促進事業）、最初は不安だらけだったけど、今では一日も早く独立して自分のつくった農産物をみんなに食べてもらいたいんだって張り切っていました。私も負けていられない！

将来、結婚して家建てるときの支援（若年夫婦及び三世帯同居マイホーム取得支援事業）や、実際に就農した際にも農業経営のアドバイスを受けることができるってすごく安心じゃないですか？



将来は、彼がつくった野菜を私のカフェで提供したり、ジャムやピクルスといった加工品をつくって販売しようと、2人で盛り上がっています。そして商品がブランド化できるといいな！

…というのも、私が卒業した新東小学校は、生徒数が減少して一昨年閉校してしまいましたが、校舎に筑波大学の食品・バイオマス工学研究室の分室ができて、ライスマルクの商品化を進めているんですよ（稲敷ライスマルクプロジェクト事業）。市から6次産業化のアドバイスがもらえたり、ブランド化の支援を受けることもできるらしくて、頑張ろうかなと思っています（農産物振興事業）。

それから、今、市内のインターチェンジの周辺で、商業・流通機能を整備する検討が進められていると聞きました（圏央道 I C 周辺整備構想策定事業）。将来は、そこに、私の第2号店を出店したいと、夢がどんどん膨らんでいます。

関連事業

事業名	基本計画掲載箇所
商工業振興事業	【4章2節-2-②】 P112
農業経営基盤強化促進事業	【4章2節-1-③】 P110
若年夫婦及び三世帯同居マイホーム取得支援事業	【4章1節-1-⑤】 P99
稲敷ライスマルクプロジェクト事業	【4章2節-1-②】 P110
農産物振興事業	【4章2節-1-②】 P110
圏央道 I C 周辺整備構想策定事業	【4章1節-1-①】 P98

など

Project.4

水と緑の住みたくなっちゃんプロジェクト

若い世代が求める多様な生活スタイル、稲敷ならではの自然環境や広い土地を生かした暮らしや三世代同居・近居など様々な住みよい暮らしが実現できるよう、定住促進のための支援を積極的に提供していきます。

霞ヶ浦や豊富な水辺、樹林地、広大な田園風景など、豊かな自然環境がありながらも、「東京圏に1時間で行ける、意外と便利な」立地特性を生かし、水と緑に囲まれた素敵な暮らしの実現を支援します。



～こんなことを実現します～

三世代同居・近居を支援し住みたくなっちゃんを増やします！



稲敷市にりターンしてきたお父さんに聞きました！

東京の大学で彼女と知り合い結婚。元気な男の子が2人と家族も増えましたが、アパートが狭いのが悩みでした。東京では一戸建ては手が届かないし、マンションも高いし…。

そんな話を、実家でこぼしていたら、おやじが、「それなら思い切って帰ってこないか？ 庭に家を建てたらいいだろう」と。

妻が「田舎暮らしは楽しそう」と賛成してくれたので、市内の工業団地に新しく本社を移転した企業（本社機能移転等支援事業）に転職が決まったのを機に、実家の敷地に念願のマイホームを建てました。

稲敷市には、三世代同居・近居のマイホーム取得に魅力的な支援があるほか、市内金融機関と連携した低利融資もあったので、資金面でかなり助かりました（若年夫婦及び三世代同居マイホーム取得支援事業）。



妻は東京育ちで、田舎の生活は初めて。引っ越してきたころこそ少し不安そうでしたが、おふくろも何かと気を使ってくれて、今ではすっかり馴染んできた様子。先日も、子どもとおふくろと一緒に、三世代が交流する「稲敷市民スポーツフェスティバル」に参加して、「楽しかった」と嬉しそうに話してくれました。

おふくろはというと、何でも市の「じいじ・ばあばの孫育て講座」に参加し、今どきのママや孫との接し方を勉強したとか。妻とおふくろは、今度は、「あいアイ運動会」や「三世代アルバム作り」

と一緒に行動しようと話をしています。

そういえば、自分が子どものころから、稲敷市は三世代同居が多かったのですが、今でもまわりを見てみると、まだまだ三世代が多いよ



うな気がします。市では、三世代が仲良く楽しく過ごせる、安心して仕事や子育てができる事業に力を入れているとのこと（稲敷市版三世代同居・近居プロジェクト事業）。

子どもたちは、狭いアパートから広い家になり、自然豊かな環境に大満足。家の中で走り回っても怒られなくなったし、孫には甘いおじいちゃん、おばあちゃんがそばにいますからね。

この前、家族みんなで霞ヶ浦沿岸のサイクリングを楽しみました。わかりやすい案内や休憩施設があり、小さな子ども連れでも安心で、みなさんにもおすすめです（サイクリング環境整備事業）。



そうそう、妻も初めは、「自然以外に遊ぶところがあるといいのに」なんて言っていました

たが、圏央道を使うと、つくばや成田まで30分、お台場まで1時間で行けるので、最近は、週末家族で遊びに行っています。少し足を延ばすだけでいろんな場所に行けるんです。



今度、東京行き的高速バスの運行（高速バス誘致推進事業）が始まったら、子どもたちを親に預け、2人で結婚前にデートした青山のイタリアンレストランに行こうと話をしています。



妻は、「稲敷市は何もないけど、のんびり豊かな暮らしができるし、都心にも近いし、引っ越してよかった」と言っています。

私は、親、妻、子どもの家族みんなが、笑顔で楽しく暮らしていることが、何よりの幸せです。

関連事業

事業名	基本計画掲載箇所
本社機能移転等支援事業	【4章2節-2-③】 P112
若年夫婦及び三世代同居マイホーム取得支援事業	【4章1節-1-⑤】 P99
稲敷市版三世代同居・近居プロジェクト事業 ・稲敷市民スポーツフェスティバル ・じいじ・ばあばの子育て講座 ・あいアイ運動会 ・三世代アルバム作り	【1章2節-2-①】 P56 【5章1節-2-③】 P120 【1章1節-1-②】 P44 【1章1節-1-②】 P44
サイクリング環境整備事業	【4章1節-2-③】 P101
高速バス誘致推進事業	【4章1節-2-⑤】 P102

など

暮らして安心安全なまち

市民が安心安全に暮らすことができるように、防災や防犯対策、交通安全など地域の安全対策の強化を行政が担い、コミュニティの活性化や協働のまちづくりを地域で発展させる「安心安全な地域づくりプロジェクト」「地域の絆を生かした交流・連携プロジェクト」に取り組み、暮らして安心安全なまちを目指します。

Project. 5

安心安全な地域づくりプロジェクト

市民が地域の中で安心安全に暮らせるまちを目指し、市民の生命・財産を守る取組を最優先にすすめます。

防災においては、地震や風水害など大規模な災害に対応するため、迅速な初動体制の確保、市民への速やかな情報提供やライフラインの確保、広域連携による相互援助体制の充実、防災備蓄品の確保等を図ります。

また、地域ぐるみの消防・防災・防犯体制の構築、地域において災害時に市民を支援する仕組みの充実を図ります。



～こんなことを実現します～

地域ぐるみで災害に備え、安心して暮らせるまちをつくります！



息子夫婦・孫と暮らすおじいちゃんに聞きました！

最近、自然災害が多くて、とても心配なんだ。いつ稲敷市にも起きるのか、わからないだろ？ 他の地域のことだと思ってのほほんとしている場合じゃないっていうのが実感だな。

そんなことを思いながら、市で、防災訓練を行うというので行ってみたんだ。県と合同でやっているようで、とても多くの人に参加していてびっくりしたよ（大規模防災訓練事業）。市役所や消防団、消防署だけではなく、自衛隊、警察、医療関係、電気・ガス・電話の事業者の人など、みんなが連携し、真剣に取り組む姿に、私を含め市民は安心したんじゃないかな。



稲敷市では女性の消防団（防火クラブ（女性消防団）育成事業）や、市役所の職員や会社員で構成される機能別消防団（消防設備等整備事業）もあって消防活動を支えているそうだ。頼もしいな。

それ以外にも、訓練でもらったパンフレットに書いてあったが、市では、災害時に、災害情報を迅速に伝えるシステムの整備に取り組んでいる（防災行政無線整備事業）ほか、災害に備え、想定さ



れる避難人口の3日分程度の食料などを、計画的に準備しているんだそうだ（防災備蓄整備事業）。

そうそう、稲敷市は災害時の避難先として、他県の自治体と「災害時応援協定」も結んでいるんだよ。東日本大震災のときは、周辺の自治体も同じように被災したから、こういう取組も大事だと思うよ。



「自分でも何かしないと…」と思っていたら、孫が、学校で、「ジュニア防災検定」を受けるので、家族で防災について、話し合いたいと言ってきたよ（防災教育推進事業）。稲敷市は、防災教育に力を入れてるんだな。「ジュニア防災検定」は全国に先駆けた取組らしいよ。なかなかやるじゃないか。

私の地区では、自主防災組織を立ち上げようとの話が出ているんだ（自主防災組織育成事業）。自助、共助、公助のつながりが、少しずつ強まっている感じがするね。

そうそう、ところで最近では珍しくはないが、先日、隣の家車が盗まれ、ちょっとした騒ぎになったんだ。田舎でも、そんなことが起こる時代になったんだな。そうすると人の目が少ないから、かえって心配だって、みんな言っているよ。まあ犯人が捕まったそうで、一安心だけどね。何でも、防犯カメラでわかったとか。市では、幹線道路や学校周辺に、防犯カメラの設置を進めているそうで、効果が出ているってことだな（防犯カメラ設置事業）。

これをきっかけに、自主防災組織に自警団も兼ねたらどうかとの話になっている。私も、まだまだ元気なので、参加しようかなと思っているんだ。



いろいろな災害を見るにつけ、結局のところ安心安全に暮らせることが、一番大切なことだと、つくづく思うよ。そのためには、やっぱり市役所と地域が手を取りあって、連携して取り組むことが必要じゃないかな。

関連事業

事業名	基本計画掲載箇所
大規模防災訓練事業	【3章1節-1-③】 P80
防火クラブ（女性消防団）育成事業	【3章1節-2-①】 P83
消防設備等整備事業	【3章1節-2-②】 P83
防災行政無線整備事業	【3章1節-1-⑥】 P81
防災備蓄整備事業	【3章1節-1-⑥】 P81
防災教育推進事業	【3章1節-1-⑤】 P81
自主防災組織育成事業	【3章1節-1-②】 P80
防犯カメラ設置事業	【3章1節-3-②】 P85

など

Project. 6

地域の絆を生かした交流・連携プロジェクト

市民、事業者、地域、行政が相互の絆を深め、暮らしやすいまちを目指します。

具体的には、地域コミュニティの維持・活性化のための取組を積極的に展開するとともに、市民が主体的に取り組むまちづくりを支援します。

また、子どもたちの学習やスポーツ、文化活動、地域の交流活動や多世代交流ができるイベントなどにより、地域の交流・連携を深め、活性化を図ります。

さらに自慢できる、誇れるまちを目指し、シティプロモーションを推進します。



～こんなことを実現します～

地域の絆を深め、みんなが誇れる市民協働のまちをつくりまします！



息子夫婦・孫と暮らすおばあちゃんに聞きました！

最近、いなすけくんをよく見かけるわ。うちの地域のお祭りにも来てくれて、孫たちも大喜びでしたよ。ゆるキャラグランプリで茨城県1位になりそうだし、すっかり人気者になったわね（地域おこし協力隊によるシティプロモーション事業）。



この間、市の広報紙にうちのお嫁さんが稲妻雷五郎の像のところでジャンプしている写真が載っていたんだけど、あれは何の企画だったのかしら？？（シティプロモーション推進事業）何でも、稲敷市を大好きな人たちが、自分の好きな場所でジャンプしてその場所をPRすることが流行っているみたいで、市では、「シティプロモーション」に力を入れているらしいの。そのせいか、最近、新聞で稲敷市のことが取り上げられる機会が増えたり、市の話題をよく耳にしたり、市に愛着を持っている人が増えているみたいね。



この前、地域の夏祭りに孫を連れて行ってきたんだけど、息子たち若い世代の人たちが中心になって動いてくれて賑やかだったわ。みんな自分が住んでいる地域を良くしたいと感じてるみたい。稲敷市では、地域で^{あぜ}畦道の草刈りや水路の掃除を行う場合、市から助成を受けることができるので、祭りのあと、みんなで計画を立てたって息子が言ってたわ（多面的機能支払交付金事業）。せっかくだから、孫の通学路の草刈りもやろうってことになったらしくて、安心ね。

最近、地域を住みよくしていくためには、何でも市役所任せにするのではなく、自分たちができ



ることは自分たちでやらないといけないなと思うようになってきたの。

自分で言うのも何だけど、私みたいな「元気なお年寄り」ってそう思っている人が多いと思うわ。

何から始めればいいのかわからなかったけれど、とりあえず私は、介護施設でボランティア活動を始めたの。ボランティアと言っても、介護施設に入所している方のおしゃべり相手になったり、洗濯物をたたんであげたりする程度なのよ。自分が動けるうちに、動けなくなった方のために、何かできないかと思って。



そもそも、ボランティアは無償でするものだと思って始めたけれど、いろいろなボランティアがあるのね。私がかかわっているボランティア活動には、ポイントが付くそうよ（介護支援ボランティア制度実施事業）。ポイントがたまると、お金に換えることもできるんですって。ボランティア活動でお金が貯まったら、今度孫にいなすけのぬいぐるみを買ってあげようと思って、わくわくしているの。

「これはおばあちゃんにとって特別ないなすけなのよ！」って言って渡すの。孫のためにも、地域のためにも、一層がんばらなくてはね。

それから、これは介護施設で小耳にはさんだのだけど、市では市民協働のまちづくりを進めるための「市民協働指針」というものをつくっているらしいわよ。どんな指針になるかちょっと楽しみね（市民協働指針策定事業）。



関連事業

事業名	基本計画掲載箇所
地域おこし協力隊によるシティプロモーション事業	【5章2節-2-③】 P127
シティプロモーション推進事業	【5章2節-2-③】 P127
多面的機能支払交付金事業	【4章2節-1-①】 P110
介護支援ボランティア制度実施事業	【2章1節-2-④】 P68
市民協働指針策定事業	【5章1節-1-③】 P118

など

2 基本計画（政策別計画）

■政策別計画の見方

